



思春期に入っている子もいます。気持ちはあります。理解もしています。しかし、心の中の何かが邪魔をします。その中で個別に指導されることもあります。だから面白くない気持ちにもなりますが、指導される理由を本音のところでは理解しているはずです。だから苦しいのだとも言えます。素直に行動に表せた方がよっぽど楽です。

六年生の姿を見ながら、「全員が一人残らず」立派な所作が出来たら、すばらしい返事が出来たら、大きく口を開けて歌声を響かせることが出来たら、すばらしいなと思う一方でちょっと気味が悪いなとも考えていました。しかし、全員の立派な姿をあくまで目指します。結果、百パーセントではなかつたとしても子どもたちを責めることはないですし、子どもたちにがっかり→

練習を始めた当初は緊張して、手足時に動かしてぎこちなく入場する姿がようですが、ほぼ毎年必ずいます。微すが、本人は必死です。証書をもらう信のなさや迷いが動きに表れます。大たいの動きを予測し、こうやればいい子どもは経験値が低いのでまず予測が説明しますが、一回の説明では全員にいてなかつたり、説明を理解できていません。「一回しか言わないよ」と言っても一回では伝わりません。だからといつて、子どもたちにやる気がないわけではありません。間違いなく全員が家族や周りの大人、後輩達に立派な姿を見せたい、見せるべきだと思っていきます。だから、私たちは何度も説明します。伝わるまで、できるまで説明します。説明と練習と叱咤激励を繰り返して、子どもたちは立派な態度、凜々しい動きを獲得していきます。



あいさつ実態調査(再調査結果)

再調査を行いました。体感でもよくなりました。

○正門・北門(北方面からの児童) 84.5%→86.4% 向上
○正門(南方面からの児童) 35.6%→52.4% 向上
○裏門(東方面からの児童) 67.8%→84.5% 向上
いずれも向上中！まだまだ伸びしろがありますね！
それぞれが、人任せにしないことです。
一人一人の、「あなたの」あいさつを相手に届けて欲しいです。あなたのあいさつで元気づく人が必ずいます！

おじねんです！ をじねんです
ふたりあわせて
ねんねんずでーす！

ねんねんず再び

2月に6年生が催した「地域への感謝の会」でデビューした素人漫才師「ねんねんず」ですが、そのときの子どもたちの反応がわからず不完全燃焼だったため、新ネタでリベンジしました。

今日は皆喜んでくれたかな?
と思います。ねんねんずからの
メッセージが6年生に伝わってい
たらいいなあと思います。
次はあるのでしょうか？！

するのももちろんありません。こういう話の流れになると、今年のちは卒業式の練習がイマイチなのかな? されませんが、決してそうではありません。もすばらしい。気合いが入りすぎて、途中で疲れが見られるほどです。

五年生との初めての合同練習の時、五年生の姿勢の良さにぶつたまげました。一緒に卒業させてもいいんじやないか? と思うほどのビシッとした様子でした。「五年生は姿勢良いね」と声をかけると、それ以上伸びないであろう背筋をさらに伸ばそうとする姿に胸を打たれ、微笑ましくさえ感じます。気持ちの面での世代交代はもう完了しているのかもしれません。後輩のこうした姿はうれしいものです。

明後日の卒業式での子どもたちの姿が楽しみです。六年生の保護者の皆様と子どもたちの成長の喜びを分かち合いたいと思います。

